

伊勢崎市立第三中学校
第1学年通信
令和2年5月27日(水)
休業期間臨時号No.8

キラリ



シリーズ「授業の再開に向けて②」

～中学生のカタチ②～

今回も引き続き、「中学生のカタチ」と題して「中学生らしさ」について考えて行きます。本号はその2回目です。

<「中学生のカタチ」…その2>

◇「自立」した心を持ち、「社会の一員」としての自覚をもった行動ができるようになる。

中学生年代になると、自分の存在を親から切り離された『独立した個人』として意識するようになります(親離れ)。そして「社会」に所属し、その一員として行動していきたいという思いが自然と芽生えてきます。友達との繋がりを大切にしたり、グループ内の自分の立場などを気にしたりするようになるのは、その表れの一つかもしれませんね。

けれども、中学生はまだ未熟です。学校生活の中で、自分の「思い」と「自分を取り巻く社会」がかみ合わないことに思い悩み、心を乱されてしまうようなことがあるのも事実です。



社会の中で「自立した個人」をつくっていくことや、他者との「よいよい共存関係」を築いていけるようにすることは、大人の仲間入りをする生徒の皆さんが、身につけていかなければならない大切な要素と考えています。



このような態度を育成するために、中学校では「どのような取り組み」をしているのでしょうか？

【例1】積極的な「あいさつ」を実践しています。

「あいさつ」は、人間関係づくりや社会生活を円滑に進めていく上で大切なスキル(技能)です。中学校では「あいさつ」運動を積極的に進めています。先生方も進んであいさつをしたいと思いますので、皆さんも「あいさつができる中学生」を目指しましょう。



【今から出来ること・・・】

★特に1年生は、新しい仲間との人間関係づくりからスタートです。「おはよう」と声をかけることが、話かける「きっかけ」になるかもしれませんね。

【例2】授業の中に「小グループでの話し合い活動」を取り入れていま す。

授業の中で、課題解決を行う手段として「小グループを作っ
ての話し合い活動」を積極的に取り入れていきます。話し合い活動
を行うことで、「**自分の考え**」を持てるようになってきます。また、
「**相手の考えを尊重**」したり、**お互いの意見をすりあわせて「折
り合いを付ける」**ことができるようになってきます。



中学校は「校則が厳しい」と聞きます。不安なのですが
大丈夫でしょうか。？

中学校で目指す生徒の姿として「自立した個人」があります。けれども中学生年
代はまだ未熟で「**個人の価値観**」が優先されがちです。そのような中「**社会の
中でよりよく共存していく**」という視点で**自分を振り返る**ことを学ばせるのも中学
校の役割です。

自分の思い通りに出来ないとき、ひとは「きゅう屈」と感
じます。けれども、思い通りに振る舞ってしまうと、その分
誰かが我慢をしているかもしれません。お互いに譲らない人
どうしならばケンカになってしまうかもしれませんね。

中学校には校則があります。でもそれは、**皆さんの生活を
縛るものではなく「生活しやすい環境を整えるためのもの」**
であることを理解して下さい。



【今から出来ること・・・】

★入学説明会で配った「新入生説明会資料（ピンク色）」をもう一度読み返
してみましょう。詳しい「きまり」については、授業再開後に時間をとって説
明したいと思います。

お知らせ

○次回の「登校日」は5月28日（木）です。登校時間については、21日配付の学
年通信の通りです。21日と登校時間が変わっていますのでご注意ください。

- 2, 4, 6組の男子・・・ 9:00登校～ 9:45完全下校
- 2, 4, 6組の女子・・・ 10:00登校～10:45完全下校
- 1, 3, 5, 7組の男子・ 11:00登校～11:45完全下校
- 1, 3, 5, 7組の女子・ 13:30登校～14:15完全下校

○「21日までの課題」で未提出のものがあつた場合には、「28日の登校日」に持参
して下さい。